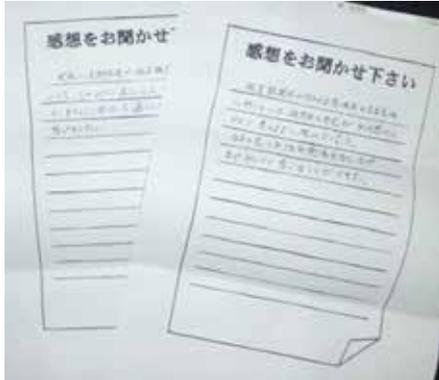


航空観閲式を見学して 大学生たちの感想



届いた感想文

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）に、10月26日（日）に行われた「航空観閲式」見学に参加した大学生から感想文が届いた。

感想文には、「実際に、自衛官や航空機を目の当たりにして、このような屈強な隊員、装備品に守られているなら安心して暮らしていけると感じました」、「日本の空における自衛隊の力を、目や耳や肌から感じる事ができた」などの言葉が綴られていた。

横浜中央募集案内所は、「今後も多くの募集対象者を、様々なイベントに案内し、自衛官受験意欲の向上を図っていききたい」としている。

入隊予定者が砕氷艦「しらせ」で体験航海



入隊予定者（幹部候補生等）

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、10月26日（日）、入隊予定者（幹部候補生等10名）が参加した砕氷艦「しらせ」の体験航海を支援した。

この体験航海は、「しらせ」が南極へ出港する前に行われたもので、海上自衛隊横須賀基地から晴海埠頭到着までの間、甲板上では隊員たちによる「手旗信号」や「ラッパ吹奏」、そして「海制服等のファッションショー」などのパフォーマンスが行われ、参加者を和ませていた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、様々なイベントに多くの入隊予定者を参加させて、自衛隊の理解促進に努めていきたい」としている。

湯河原産業祭でPR



自衛官募集ブースの状況

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、10月26日（日）、湯河原産業祭（湯河原町）に広報ブースを出展し、募集広報を行った。

イベントには、約1万人の方々を訪れ賑わいをみせていた。自衛隊のブースでは、自衛官募集相談員や自衛隊協力会の方々の支援を受け、陸海空自衛隊の装備品の写真パネルや広島の土砂災害に伴う災害派遣などの写真パネル展示、その他子供用迷彩服の試着などを行った。ブースを訪れた方々から、「自衛隊さん、いつもお疲れ様です」「ありがとうございます」などの声が聞かれていた。

小田原地域事務所は、「引き続き、協力者等と連携して募集広報を行っていく」としている。